



# 青木第一地区

- ① 集会施設、文化施設  
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ  
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園  
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉  
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



## 地区概要

横浜駅に近く、地区に隣接して東急東横線反町駅、京急線神奈川駅、市営地下鉄三ツ沢下町駅があります。

丘の上は戸建て住宅が多く、幹線道路の沿道や公園の周辺には集合住宅も立地しています。

地区内には反町公園、台町公園、沢渡中央公園などの公園があります。

## 地区基礎データ

### ●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

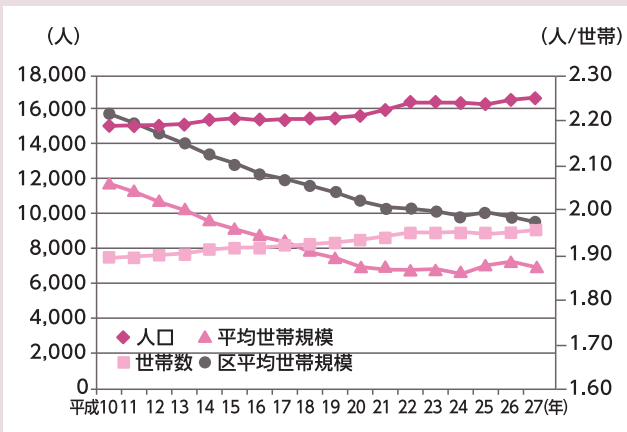
	青木第一地区	神奈川区
<b>総人口</b>	16,448 人	232,788 人
0～14歳	1,832 人(11.1%)	27,667 人(11.9%)
15～64歳	11,316 人(68.8%)	155,501 人(66.8%)
65歳～	3,300 人(20.1%)	49,620 人(21.3%)
<b>総世帯数</b>	8,840 世帯	118,697 世帯
平均世帯規模	1.86 人/世帯	1.96 人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	1,183 世帯(13.4%)	15,662 世帯(13.2%)

交通の便が良いこともあり、20歳台が転入増加する傾向が強くなっており、30～44歳が多い人口構成になっています。

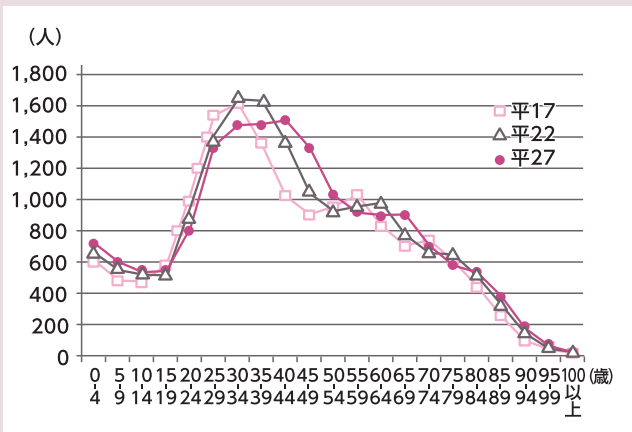
平均世帯規模は区の平均をわずかに下回っています。

65歳以上の一人暮らし世帯の比率が区の平均を若干上回っています。

### ●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



### ●年齢5歳別人口の動向



\*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

# 緩やかな繋がりで 様々な人が地域で支え合うまち青木第一

## これまでの取組とこれからに向けて

東急反町駅周辺の商業地から、栗田谷、松ヶ丘等の丘陵地にある住宅まで、様々な表情を見せる地域です。高齢者を対象にした親睦を主とした活動、健康体操、ふれあい訪問や自治会長や民生委員による要介護者への見守り、また「青木チャイルドガード」、「すくすくかめっ子」での子ども世代との世代間交流も積極的に行われています。ふれあいコンサートを通じて障害者との交流も活発です。

今後は、新しいマンションの住民の把握や交流、若い人の地域への関わり、災害時の助け合いなど、さらなる地域の一体感の強化をすすめていきます。

## 目標1 日常的な見守り・支え合いから災害にも強い町をつくろう

### 【取組内容】

- ◆地域情報や要介護者の情報を共有できる機会を増やす
- ◆ふれあい訪問活動を強化、拡大する
- ◆要介護者の見守り、助け合いのため、多くの人が関わる機会をつくる
- ◆災害時の支援情報や避難ルート等を、地域住民で共有する



## 目標2 緩やかにつながれる場やきっかけをつくろう

### 【取組内容】

- ◆サロンやお楽しみ会など、地域の中で交流できる居場所を増やしていく
- ◆町内会同士の交流の機会を確保する
- ◆町内会、老人会、子供会等、地域の団体の交流の場を設ける
- ◆地域のイベント等への参加から、段階的に担い手を育成する
- ◆子供会を通じて、親との交流機会を拡大し、担い手を確保する

## 目標3 若い世代が地域への愛着を持ち、自由に意見を言い合える場をつくろう

### 【取組内容】

- ◆高齢者と若い人との接点を段階的に設置する
- ◆地域活動を継続して担える機会を確保する(子供会卒業後の関わりや青年部等)
- ◆女性の力やネットワークを活かし、親子の集いの広場「すくすくかめっ子」の輪を拡大する
- ◆子育てへの関わりから、地域を知り、顔見知りの機会を拡大する
- ◆若い世代に町の歴史を伝え、地域への愛着を高める

